

研究課題名	三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス ―手術部位感染症―
研究責任者名	広島大学病院感染症科 教授 大毛 宏喜
研究期間	2021年12月(倫理委員会承認後)～2023年12月
対象者	2021年12月から2022年12月の間に、広島大学病院全診療科での消化器外科手術後の感染が診断された患者さん。
意義・目的	術部位感染症患者より分離された原因菌に対する各種抗菌薬の感受性を測定し、原因菌の患者背景・地域別の分布及び感受性推移・耐性化動向を経年的に検討することにより、感染症化学療法の適正化を促進することを目的とします。本研究は日本化学療法学会、日本感染症学会、日本臨床微生物学会による三学会合同抗菌薬感受性サーベイランスとして実施されます。
方法	<p>本研究は、本邦の様々な医療機関において消化器手術の術後の感染が診断され、膿、穿刺液、腹水、胆汁などから検出された <i>Bacteroides</i> 属、<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA, MSSA)、<i>Enterococcus faecalis</i>、<i>Escherichia coli</i>、<i>Klebsiella pneumoniae</i>、<i>Enterobacter cloacae</i>、<i>Pseudomonas aeruginosa</i> などの菌株と診療録(カルテ)情報を調査して行います。菌株については、1か所の外部検査機関に搬送し、各種抗菌薬の感受性について検査を行います。カルテから使用する内容は対象菌種、診療科名、担当医師、検体番号、年齢、性別、手術対象疾患、術式、手術手技コード、感染症(表層切開創感染、深部切開創感染、臓器/体腔感染)、検体採取日、検体、手術名です。個人を特定できない形式に記号化されたカルテ情報および感受性測定結果は三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会および薬剤感受性測定施設に研究終了後5年間または研究結果最終公表日から3年間のいずれか遅い日まで保管されます。菌株は10年間保管され廃棄の可否を検討します。菌株を期限内に廃棄せず将来別の研究に使用する場合は、改めて倫理審査を受けた上で使用します。</p> <p>(個人を特定可能な情報は削除し、匿名化した上で提供します)</p>
研究の実施体制	<p>研究代表者 広島大学病院感染症科 研究代表者教授 大毛 宏喜 研究事務局 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会 実務委員長 松本 哲哉 共同研究機関 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会 薬剤感受性測定機関 株式会社マイクロスカイラボ</p>
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 感染症科 教授 大毛 宏喜
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料や情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-1613

広島大学病院 感染症科 教授 大毛 宏喜

研究機関：広島大学